

平素よりHA8000-ie/NetStorage100,120シリーズをご使用いただき、まことにありがとうございます。
 WindowsXP SP2および下記セキュリティパッチは大幅な変更が加えられており、
 HA8000-ie/NetStorage100,120シリーズでは、WindowsXP SP2および下記セキュリティパッチ適用の
 クライアントご使用時にいくつかの制限事項がございます。
 制限事項の中には、重大なものもございますので、可能な限りWindows XP SP2および
 下記セキュリティパッチは適用なさらないことをお勧めいたします。
 また、適用になる場合も、下記制限事項に十分留意して運用いただきますようお願いいたします。
 なお、下記現象は、Windowsのパッチ適用に際して、Windows側のアクセスプロトコルの仕様が
 変更されていることが原因で発生しており、これらは本来のセキュリティ対策とは異なる仕様変更のため、
 Windows以外のNAS製品では、NAS側での対策が困難な内容となっております。
 なお、クライアントにはservice packやセキュリティパッチなどを単体で適用した状態で動作確認を行なっ
 ております。したがって、お客様の環境によってはセキュリティパッチの組合せによって問題が発生しない
 場合がございます。また、お客様の環境によっては本ドキュメントに記載されていない問題が発生する
 場合もございます。導入する場合は、事前に動作検証を行なって頂くようお願い申し上げます。

HA8000-ie/NetStorage100シリーズにおける Windows XP service pack2 または Windows2000,XPに各種セキュリティパッチを適用した クライアントとの問題点

概要

HA8000-ie/NetStorage100シリーズに対して、Windows XP service pack 2、または下記セキュリティパッチを
 適用したクライアントからアクセスした際の動作確認結果について説明いたします。

対象形番

GTONS101-K245N80, GT0NS100-J245N80

項番	発生条件	問題点	解決策	備考
1	WindowsXP SP2	NS100Assistant.exeを立ち上げると不正なプログラムの可能性があるとの表示と共にポップアップが表示される場合がある。	ポップアップの中でプログラムをフィルタリングしないように解除する。 ([Windowsファイアウォール]の設定で、NS100Assistant.exeを例外とする)	WindowsXP SP2の仕様上の動作である。
2	WindowsXP SP2	管理WEBを立ち上げてadminでログインしようとする時詳細な管理ページが開くタイミングでポップアップブロッカーによって抑制される旨のポップアップが表示される場合がある。	ポップアップの中でプログラムをフィルタリングしないように解除する。	WindowsXP SP2の仕様上の動作である。
3	WindowsXP SP2	HA8000-ie/NetStorage100と同一セグメントにWindows XPにSP2を適用したOSを存在させると、あらゆるワークグループに対してアクセスできなくなる場合がある。	マシン名で直接アクセス、またはIPによる直接のアクセスには問題ないので、この方法でアクセスする。	
4	WindowsXP SP2	Excel,Wordファイルが消去できない。また、それらのファイルを開く際に一時ファイルが作成されるが、その一時ファイルも消去できない場合がある。 (名前変更、コピーは出来る)	ファイル1つだけを選択し「ドラッグ&ドロップ」にてごみ箱に移動する。 ただし、いくつかのファイルをまとめて削除することはできない。	
5	Windows2000 またはWindowsXP MS04-044 (KB885835)適用	Excel,Wordファイルを開く際に作られる一時ファイルを消去できない場合がある。 (名前変更、コピーは出来る)	一時ファイル1つだけを選択し、「ドラッグ&ドロップ」にて、ごみ箱へ移動する。 ただし、いくつかのファイルを選択して複数のファイルをまとめて削除することはできない。	

HA8000-ie/NetStorage120シリーズにおける Windows XP service pack2 または Windows2000,XPに各種セキュリティパッチを適用した クライアントとの問題点

概要

HA8000-ie/NetStorage120シリーズに対して、Windows XP service pack 2、または下記セキュリティパッチを適用したクライアントからアクセスした際の動作確認結果について説明いたします。

対象形番

GJONS128-FQNN1N0, GJONS128-8DNN1N0, GJONS127-44NN1N0, GJONS126-54NN1N0

項番	発生条件	問題点	解決策	備考
1	WindowsXP SP2	ManageTool.exeを立ち上げると不正なプログラムの可能性があるとの表示と共にポップアップが表示される場合がある。	ポップアップの中でプログラムをフィルタリングしないように解除する。 ([Windowsファイアウォール]の設定で、Manage Tool.exeを例外とする)	WindowsXP SP2の仕様上の動作である。
2	WindowsXP SP2	ManageTool.exeから管理WEBを立ち上げてadminでログインしようとする和管理ページが開くタイミングでポップアップブロッカーによって抑制される旨のポップアップが表示される場合がある。	ポップアップの中でプログラムをフィルタリングしないように解除する。	WindowsXP SP2の仕様上の動作である。
3	WindowsXP SP2	ManageToolの簡易設定でWORKGROUP/ドメインの設定をすると何度かに一度"Can't bind"のメッセージが出て検出できない場合がある。	再度検出ボタンを押下する。	
4	WindowsXP SP2	Windows Explorer上でファイルやディレクトリを作成した場合、作成したファイルやディレクトリが表示されない場合がある。	F5キー等でWindows Explorerの更新を行なう。	弊社環境では、WindowsXP SP2クライアントのローカルドライブ上でも発生する可能性があることを確認しており、Windowsまたはネットワーク上の問題の可能性が考えられる。
5	WindowsXP SP2	HA8000-ie/NetStorage120で設定したワークグループ内にHA8000-ie/NetStorage120を単体で存在させると、Windows Explorerのマイネットワーク上でHA8000-ie/NetStorage120を表示できなくなる場合がある。	HA8000-ie/NetStorage120を再起動する。もしくは既に存在しているWindowsクライアントと同一のワークグループ/ドメインに変更する。	Windowsサーバを使用しても同様の現象が発生する可能性があることを確認しており、Windowsまたはネットワーク上の問題の可能性が考えられる。
6	WindowsXP SP2 + OfficeXP or Windows2000 + Office2000	HA8000-ie/NetStorage120上のWord及びExcelでファイルを開いて編集した後そのファイルをセーブして閉じると、保存したファイルが格納されている共有フォルダに対して再度認証を求められる場合がある。	認証を求められた場合は、ユーザとパスワードを入力し再度認証処理を行う。	弊社環境ではOfficeファイルを扱う場合のみ発生するため (Windows 2000 + Office2000, WindowsXP SP2 + OfficeXPの組み合わせで確認)、Office2000/XPファイルとWindows 2000/XPの組み合わせが原因として考えられる。
7	WindowsXP SP2	HA8000-ie/NetStorage120のWEB管理ツールからEvent Logをダウンロードできない。	WindowsXP SP2をご使用の場合は本機能を使用することはできません。	
8	WindowsXP SP2 + OfficeXP or Windows2000 + Office2000	HA8000-ie/NetStorage120上に保存されているファイルのプロパティを表示するとファイルサイズの項目が見える事が出来るが、どのファイルに対してプロパティを見ても0バイトと表示される場合がある。	Windows XP上のユーザーを一旦ログオフした後、再度ログインする。	項番6の現象が発生した際にも、発生することを確認しており、項番6と同様の原因が考えられる。